

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年12月25日
【会社名】	テンプホールディングス株式会社
【英訳名】	Temp Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 水田 正道
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
【電話番号】	(03)3375-2220(代表)
【事務連絡者氏名】	グループ財務部長 森 博也
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
【電話番号】	(03)3375-2220(代表)
【事務連絡者氏名】	グループ財務部長 森 博也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成26年12月24日開催の取締役会において、当社連結子会社による子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第16号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社に関する子会社取得を決定した機関

平成26年12月24日の当社取締役会において子会社取得を決定しております。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得を行う当社連結子会社の名称、住所及び代表者の氏名

名称	テンプスタッフ株式会社
住所	東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
代表者の氏名	代表取締役社長 水田 正道

(3) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	パナソニック エクセルスタッフ株式会社
本店の所在地	大阪府大阪市中央区城見二丁目1番61号
代表者の氏名	代表取締役社長 須田 勝也
資本金の額	90百万円
純資産の額	(単体) 3,226百万円(平成26年3月現在) (連結) 6,196百万円(平成26年3月現在)
総資産の額	(単体) 11,922百万円(平成26年3月現在) (連結) 15,921百万円(平成26年3月現在)
事業の内容	労働者派遣、有料職業紹介、経理・事務処理の請負、システム等開発・設計の請負、コンサルタント業務等

(4) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

決算期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	26,964百万円	26,077百万円	27,856百万円
営業利益	1,037百万円	571百万円	261百万円
経常利益	742百万円	709百万円	626百万円
当期純利益	143百万円	447百万円	379百万円

(5) 取得対象子会社の当社及び当社連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 当社及び当社連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
 人的関係 当社及び当社連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
 取引関係 当社及び当社連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(6) 取得対象子会社に関する当社連結子会社の子会社取得の目的

本件の概要

当社は、グループスローガンとして「はたらく喜びを、いっしょにつくる」を掲げ、企業理念の「雇用の創造」「人々の成長」「社会貢献」の実現を目指しております。

国内の労働市場を取り巻く環境は、人口構造の変化による労働力人口の減少、産業構造の変化による労働のミスマッチなど構造的な課題があるものと認識しております。そのような中、当社は中期経営計画を策定し、目指す指標として「利用者数・雇用者数No.1」を定めました。成熟産業から成長産業への失業なき労働移動、仕事と子育ての両立支援など働き方の多様な選択肢の提供を通じ、雇用の流動化と安定化を実現させる「社会的なインフラとしての人材サービス企業」が備えるべきプレゼンスを獲得してまいります。

一方、パナソニック エクセルスタッフ株式会社（以下「パナソニック エクセルスタッフ」といいます。）は、平成元年（1989年）の設立以来、パナソニックグループにおける人材サービスの中核会社として活躍してきました。パナソニックグループとの親密な取引関係は勿論、パナソニックグループ以外に対する幅広いサービス提供や、技術領域・製造領域などにおける高い専門性など、人材サービス業界でも類い稀なプレゼンスを発揮しています。

当社とパナソニック株式会社は、パナソニック エクセルスタッフを通じて相互の企業価値を高めることを目的に同社株式の譲受、譲渡に関する協議を進めてまいりました。

本件の意義

当社及びパナソニック エクセルスタッフは、両社が有するサービス及びノウハウを結集することで、一人でも多くの求職者の方々に対して雇用の機会を提供してまいります。そして、雇用の流動化と安定化の実現、更にはアジアを代表する人材サービスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

(a) 関西地域を中心とした地域戦略の強化

パナソニック エクセルスタッフは、創業以来、大阪に本社を構え、全国で人材サービスを展開しております。とりわけ、本社を中心とした関西地域においては、同業界の中で高いプレゼンスを有しております。一方、当社においても関西地域をはじめ、全国で人材サービスを展開しております。これら両社が培ったサービス及びノウハウを結集することで、関西地域を中心とした地域戦略の強化を図り、地域に密着した企業・求職者への提案力を向上してまいります。

(b) 技術及び製造領域における専門性の強化

パナソニック エクセルスタッフの100%子会社であるパナソニック エクセルテクノロジー株式会社は、電気・電子設計、機構設計、ソフトウェア開発等の設計・開発分野における技術者の派遣・請負事業を展開しております。同様に100%子会社であるパナソニック エクセルプロダクツ株式会社は、組立等の軽作業のみならず、モノづくりの上流に位置づけられる源泉工程（プレス、成形、実装等）の製造請負・製造派遣事業を展開しております。いずれもパナソニックグループの高度なモノづくりの現場で培った技術力や製造請負力は高い専門性を有しております。これらと当社の派遣セグメント及びエンジニアリングセグメントのサービス及びノウハウを結集することで更なる専門性の強化を図ります。

(c) パナソニックグループとの更なる関係強化

パナソニック エクセルスタッフは、創業以来、パナソニックグループにおける人材サービスの中核会社として、事務領域に留まらず、技術及び製造領域と多岐に渡り活躍し、親密な取引関係を築いてまいりました。本件後は、これらを継続すると共に、当社グループのサービス及びノウハウを結集することで、パナソニックグループとの更なる関係強化を図ってまいります。

このような方向性及び状況を鑑み、本子会社取得を当社グループにおける派遣事業の中核子会社であり、強く広範な顧客基盤を持つテンブスタッフ株式会社にて行うことで、更なる企業価値向上を目指してまいります。

(7) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

取得価格の売買代金16,700百万円に子会社取得にあたって支払うデューデリジェンス費用その他諸経費200百万円を含め16,900百万円を予定しております。

(注) 上記の価額はいずれも概算額であります。

以上